

第3章

食と農業・農村のめざす将来像

1 めざす姿

Ⅲ 食と農業・農村をめざす将来像

1 めざす姿

農業・農村においては、農業が抱える農業者の高齢化、国際化の進展、農家所得の低下などへの課題、農村が抱えるコミュニティ機能の低下、「忘れ去られつつある農村文化」、「自然・環境の劣化」などの課題の顕在化等、取り巻く環境は急速に変化し、大きな転換点を迎えています。

本県は、雄大な山岳、豊かな森林や清らかな水、南北の幅と標高差による変化に富んだ気象条件を有しており、この豊かな自然環境の享受と活用を背景に、本来あるべき食の姿の実現、消費者ニーズの変化などを的確かつ迅速に捉えた様々な課題の克服と新たなステージへ挑戦する機会の創出により、農業者が夢に向かって農業に取り組み、多くの人々が本県の農村で暮らし続けたいと感じる次のような農業・農村をめざします。

(めざす農業の姿)

- 意欲ある農業者が、本県の多様な気候や立地条件を活かし、農地を効率的に活用して生産し、安定的に供給される農畜産物は、オリジナル性、品質、新鮮さ、安全性等により多くの人々から高く評価され、競争力の高い魅力ある農業を展開しています。
- 特に、企業的経営を実践する経営体は、農地を利用集積し、新たな品目・技術の導入や販路の開拓、地域からの雇用による新たな事業展開や次代を担う後継者の育成などに取り組み、自らの経営のみならず地域農業にも貢献し、夢の実現とさらなる経営発展をめざして頑張っています。
- 本県農畜産物のブランドは、県民一人ひとりからその価値が発信され、国内外において認知されるとともに、販路はアジア圏などに拡大しています。
- また、農業と他産業の連携や農業からの他産業への進出、他産業から農業への進出により、スケールアップされた力強い産業基盤が築かれています。

(めざす農村の姿)

- 美しい農村景観や伝統文化を維持しているコミュニティは、都市住民等の積極的な参加や、定年帰農者の経験と知識を活かした新たな農村ビジネスの展開等による人と人、集落と集落の結び付きにより活発に活動しています。
- 美しい農村で生産される農畜産物は、その価値を農業体験や地域の繋がりによって知った県民に購入され、家庭、レストラン、ホテル、旅館等で広く利用されています。

- また、その農畜産物を使った料理や加工品、伝統食、美しい農村景観など地域を特徴づける資源や農業体験・加工体験などの活動が有機的に結び付き、国内外に広く知れ渡り、それを求めて多くの人々が訪れています。
- 豊かな自然の中で、農業生産により発生する有用な循環資源の活用、自然エネルギーの利用など、賦存する多様な資源を活用した環境負荷の少ない農業生産が行われるとともに、そこに安心して暮らす人々の農地等を守る共同活動により、より美しい農村景観が形成され、多くの人がこの地で暮らし続けたいと感じています。